

数値目標・活動指標

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標
厚木市、商工会議所との協定に基づく地域ニーズの検討	【数値目標】 ①（取組１） 2019 年度以降、 年 2 回定期協議会実施 ②（取組２） 2019 年度以降、 年 2 回協議会実施 ③（取組３） 2019 年度以降、 年 1 回定期会合実施 ④（取組４） 2019 年度以降、 随時実施	（取組１） 厚木市・5 大学協議会開催 ○地域ニーズについて検討するため、厚木市と 5 大学の協議会を年 2 回開催する。必要に応じてワーキンググループを設置する。	（取組１の活動指標） 開催数 2 回/年
		（取組２） 商工会議所との協議会の開催 ○学生の課題解決力の向上への協力、地元企業への積極的就労等に向けて、商工会議所と年 2 回の協議会を開催する。必要に応じてワーキンググループを設置する。	（取組２の活動指標） 開催数 2 回/年（新規）
		（取組３） 教育委員会との会合の開催 ○5 大学が協働して、初等中等教育への貢献、社会人教育を検討するため、教育委員会との会合を開催する。	（取組３の活動指標） 開催数 1 回/年（新規）
		（取組４） その他、自治会、NPO 諸団体などからの依頼に基づく検討会の開催 ○本プラットフォーム事務局を神奈川工科大学内に設置し、5 大学の情報共有と地域の多様で広域の課題に応える上での連絡・調整を行う。	（取組４の活動指標） 随時/年（新規）
安全・安心のまちづくりへの協働	安全・安心に関わる防災・減災、災害時ケアに関する市民向けイベント、大学間共同研究、市・企業・大学間連携イベント等の開催を行う。 【数値目標】 ⑤（取組１） プロジェクト設置目標 2021 年度 ⑥（取組２） 導入ガイドランスの全大学実施 目標 2021 年度 ⑦（取組２） 安心・安全なまちづくり実施事業 参加者数 300 名（達成目標 2021 年度） ⑧（取組３） 活動実施回数 12 回、延べ 200 名学生参加 （達成目標 2021 年度）	（取組１） 5 大学あつぎ地域連携災害支援プロジェクト（仮称）の設置 ○厚木市と協議しながら、防災・減災、災害ケアに関する情報の集約と発信、支援の方策と非常時の実践に結び付けるため、プラットフォーム事務局にプロジェクト事務局を置く。	（取組１の活動指標） 2019 年度：プロジェクト事務局設置 2020 年度：地域災害調査、情報収集 2021 年度：プロジェクト設置
		（取組２） 市内で学ぶ学生への災害時教育（防災意識を持った人材育成）を展開する。 ○5 大学のそれぞれの教育の中に、本課題を取り入れて実施する。当面は全新生入生を対象に導入ガイドランスを行う。（対象：初年次学生） ○災害時要支援者に対する健康、栄養、環境等の様々な援助について 5 大学全ての学生がその専門分野からの理解を学ぶ機会を作る。（対象：上位学生） ○市行政・市民・企業と 5 大学の学生、教職員が災害対応に関する検討の場を年 1 回開催する。 ○安心・安全なまちづくり実施事業 市民健康づくり事業（高齢市民対象） 市民環境学び講座（自然災害と厚木市の地形などの講座） 災害体験から学ぶ講座 災害時バリエーションイベント	（取組２の活動指標） 初年次学生向けガイダンス実施校数 2019 年度：2 校 2020 年度：3 校 2021 年度：5 校（全大学） 2019 年度より 開催数 1 回以上/年 事業への参加者数 2019 年度：延べ 200 名 2020 年度：延べ 250 名 2021 年度：延べ 300 名
		（取組３） 地域のセーフコミュニティ活動を支援する。 ○5 大学が協働して、課外活動としての防犯パトロール、防災、減災活動の実施を年間少なくとも 12 回行う他、本課題に関する市の要請に基づき学生の諸活動を促進する。また、地域のリスクマネジメントについて大学での知見を市行政に活かせるよう会合を持つ。	（取組３の活動指標） 活動実施回数（参加学生数） 2019 年度：4 回（延べ 50 名） 2020 年度：6 回（延べ 100 名） 2021 年度：12 回（延べ 200 名）

大学が参画する魅力あるまちづくり	市、商工会議所との連携事業を拡大し、地域社会に貢献できる人材育成を、大学の各学期に導入して実施する。 【数値目標】 ⑨（取組１） 連携事業数 73 件（達成目標 2021 年度） ⑩（取組２） コミュニティの活性化 活動実施回数 6 回 延べ 100 名参加 （達成目標 2021 年度） ⑪（取組３） 出前・受け入れ授業 テーマ数 30 件（達成目標 2021 年度）	（取組 1） 厚木市の年少人口、労働人口のわずかな減少に対して、産業振興、観光事業活性化、国際交流などを高めていく。 ○5 大学の学生に対して地元企業の理解促進、魅力の認知を図るため年間 2 回以上の企業連携イベントの開催。 ○自然の山河に恵まれており、学生のアイデア検討に基づく観光資源の広報などを年 1 回以上定期的に行う。 ○市の姉妹都市の来訪者と市民との交流を含めて市の国際化に向けた協力を行う。 （取組 2） 高齢人口が漸増する中で、元気で活力ある高齢者の力を発揮できるよう、5 大学の機能を活かす。さらには、世代間を超えたコミュニティのつながりを強化する。 ○社会人のキャリアプログラムとして年度ごとのテーマを 5 大学が協力して実施する。 ○社会人のキャリア形成プログラムを試行し、年 1 回以上実施する。 ○市職員と大学職員と共同で、コミュニティの活性化に向けた研究会の年 1 回以上開催を行う。 （取組 3） 地域における教育活動を行うとともに、地域の企業による教育への参画を図り、地域の活性化を促進する。 ○厚木市の歴史、近年の経緯、文化・地誌的特徴などを、5 大学教育の中で行う。モデル授業から始め、個々の学生が在学中に受講できる機会を作る。 ○地域の初等中等教育における、各大学の持つ知見を学生参加により地域に存在する大学の魅力、学問の魅力を伝えると共に地域の企業と協働して「働く」ことの意義、働き甲斐を伝える。 ○各大学の出前・受け入れ授業テーマをガイドブックとして作成し、市内初等・中等教育機関に配布し、選択・依頼できるようにする。年間 30 件以上に対応し、その際、大学学生の参画も促進する。	（取組 1 の活動指標） 厚木市と 5 大学との連携事業数 （2018 年度:58 事業） 2019 年度：新規事業 5 件 2020 年度：新規事業 5 件 2021 年度：新規事業 5 件 （取組 2 の活動指標） 市職員と大学教職員コミュニティ活性化 2019 年度：2 回（延べ 30 名） 2020 年度：4 回（延べ 60 名） 2021 年度：6 回（延べ 100 名） （取組 3 の活動指標） 出前・受け入れ授業 2019 年度：調査・情報収集 2020 年度：各校 3 テーマ（15 件） 2021 年度：各校 6 テーマ（30 件）
5 大学の総合力による高等教育の活性化	市内にそれぞれ専門分野の異なる領域を持つ大学が 5 校存在するメリットを生かし、その相互作用により学生の力を高める。 【数値目標】 ⑫（取組 1） FD、SD 開催数 1 回以上/年、教職員参加者数：延べ 75 名（達成目標年度：2021 年度） ⑬（取組 2） 企画・運営年 1 回以上/年 ⑭（取組 3） 共同公開講座各校 5 講座、参加者数：延べ 300 名（達成目標年度：2021 年度）	（取組 1） 各大学の組織力、教育力の強化を図る。 ○単位互換の科目を各大学が設定する。 ○協働の FD、SD、IR を年 1 回以上実施する。 ○教職員の交流を図る。 ○施設利用の便宜を図る。 （取組 2） 市民の団体、企業の協力により、学生のパワーアップ・プログラムを企画、運営する。 ○就職を促進するための取組を行う。 ○商工会議所との協力イベントとして年 1 回以上実施する。 （取組 3） 地域へ教育研究成果を公開し、さらに地域の協力を得て研究の質的向上を図る。 ○共同での公開講座、地域課題解決のための官産学・共同研究を推進する。	（取組 1 の活動指標） FD、SD 開催数 1 回以上/年 5 大学からの教職員参加者数 2019 年度：延べ 25 名 2020 年度：延べ 50 名 2021 年度：延べ 75 名 （取組 2 の活動指標） 共同就職セミナー開催数 1 回以上/年 （取組 3 の活動指標） 公開講座数 2019 年度：5 大学 5 講座（延べ 100 名） 2020 年度：5 大学 5 講座（延べ 200 名） 2021 年度：5 大学 5 講座（延べ 300 名）